

Technical Data 2012

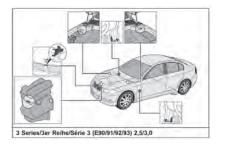
テクニカル データ

想像を超える情報量を、お手元に。



エンジンコードと VIN プレートの配置

車種によって識別しにくいことがあるエンジン コードと VIN プレートの配置をイラストで解説



エンジン調整値と排ガス値

定期点検整備において有用なエンジン各部の基 準値・調整値・排出値など膨大なデータを収録

基準値および排出量	15	
イグニッション コイルー 一次抵抗 Ω	15	-
- 二次抵抗 Ω	17	4
点火順序	18	1-2-3
点火タ ディストリビューター (ECM) No.	19	-
点火タイミング - BTDC	20	Δ
o=バキューム無し +=パキューム有り	21	4
アイドルスピード rpm	22	650±50 △
代替	23	-
00 テスト用オイル温度 °0	24	a .
アイドル スピード時の 00 レベル・テール バイブ Vol.%	25	0,3 Max △
アイドルスピード時の CO ₂ /O ₂ レベル Vol.%	26	14,5-16/0,1-0,5
アイドルスピード時の HC レベル DDM	27	100

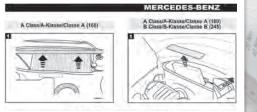
エンジン/ブレーキ各パーツ締付けトルク

オイルパンドレンボルトをはじめブレーキキャ リパなど各部の締付けトルク一覧を掲載

9 Nm	99	オイル ポンプとシリンダー ブロック間	
9 Nm M8=20 Nm	100	オイル バン ボルト	
30 Nm	101	オイル バン ドレン ボルト	
45 Nm+90° 固	102	フライホイール/ドライブ ブレート	
1)15 Nm 2)25 Nm	103	クラッチ ブレッシャー ブレート	
200 Nm+90° 23	104	クランクシャフト ブーリー/ダンバー センター ポルト	
130 Nm	105	カムシャフト スプロケット/ギア	
H390	106	カムシャフト キャリア/キャップ	
9 Nm	107	カムシャフト/ロッカー カバー	
14 Nm	108	インテーク マニホールドとシリンダー ヘッド間	
21 Nm 固	109	エグゾースト マニホールドとシリンダー ヘッド間	
28 Nm	110	スパーク ブラグ	
50 Nm	111	ラムダ センサー (02)	

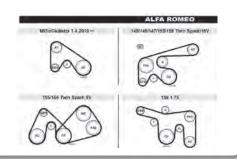
花粉フィルタの配置

花粉(エアコン)フィルタの取付位置と脱着方 向が一目で分かるイラストを豊富に収録



サーペンタインベルトの配置

サーペンタインベルトの取り回し方法について エンジン横方向からの角度で図解



表紙の左右に折り込まれたタブを開くと、 130を超えるテクニカルデータリストが現れ ます。収録するデータはこのリストに沿って 再編成されており、読みやすさを最優先する Autodataならではの装いとなっています。

故障修理事例の公開情報

車種別で発生しやすい故障事例について、症状・ 原因・対処方法などイラストを交えながら解説



その他の収録データ

エアコンの冷媒充填量とオイル量 スパークプラグ(型番とブランド別適合表) ブレーキディスク厚の最小値/ドラム直径の最大値 ブレーキパッド厚の最小値 ブレーキシュー厚の最小値 ・フロントホイールアライメント ・シリンダーレイアウト

・タイヤ空気圧 など

商品データ

・収録メーカー数:日本車を含む厳選 42 メーカー ・総ページ: 952 ページ/ A4 サイズ

¥/5,590

潤滑油の容量

エンジンやトランスミッションなど潤滑油の規 定量のほか、交換手順・注意点も掲載

1) オイル パン 2) トルク コンパーター (カバーを取 リカレドレン ブラヴが見えるとこ るまでエンジを図す) 取り利したのと同じ色の新しいレベ ル チューブを取り付けます。 ATF 更もりリッター選加します。 セレクター レバーが「P」に入っていることを確認します。 お新潟直を排除し、AT 温度を点接します。 AT が担定温度に連するまでエンジン 角度の付いたオイル パンなし、黒の レベル チューブ付き 35℃ 追加オイル クーラー付きのモデル

排出と青充塩 トランスミッション タイプ 722.6xx 1) オイル ハン 2) トルク コンパーター (カバーを取 り外しドレン フラグが見えるとこ るまでエンジンを回す) ティップスティック チェーブ ブラグ を取り付すには、固定プレート 図 114175 (1) を削って、ロック ピン 図 114175 (2) を押し出します。 ブラグ トランスミッションに相談 ATF を 5 ロリッター発揮します。 セレクター レバーが「P」に入ってい ることを確認します。エンジンを始 AIF レベルを直接し、必要な場合は補 着します。 オイル クーラー回路からオイルを接 き取った場合: ATF 温度が 90°C になるまでエンジン

オンラインストア www.autodata.jp **a** 042-739-6088 BLOG ▷ http://blog.autodata.jp/

発 売 元

株式会社 トゥウェイ Autodata日本編集部 【本社】〒410-1118 静岡県裾野市佐野84-4

【編集部】〒194-0013 東京都町田市原町田 2-4-3 **■** 042-739-6088 **■** 042-739-6089